

令和4年度 学校教育自己診断についての結果考察

1. 実施について

アンケート配布：12月9日（金） アンケート回収：12月16日（金）

【保護者アンケート（30問）】

	小学部		中学部		高等部		全体	
	R4	R3	R4	R3	R4	R3	R4	R3
提出者数	95名 /103名	98名 /109名	97名 /111名	91名 /112名	131名 /171名	125名 /153名	323名 /385名	314名 /374名
回収率	92.2%	89.9%	87.4%	81.3%	76.6%	81.7%	83.9%	84.0%
前年比	+2.3%		+6.1%		-5.1%		-0.1%	

保護者アンケートの回収率は上記の通りとなりました。今年度もたくさんの保護者の方々にご回答いただき、ありがとうございました。

2. 評価について（考察を含む）

「A：あてはまる B：ややあてはまる C：あまりあてはまらない D：あてはまらない」の4段階評価に加えて、「E：わからない」の選択肢を設定

○「あてはまる」「ややあてはまる」を合わせた【肯定的評価】の割合が高い項目

No. 5	95%	学習の内容・学校生活の様子を、懇談や学級（学年・学部）通信、連絡帳等によって知ることができている。
No. 16	94%	体育・運動の授業を通して、意欲的に運動する習慣を身に付け、体力の向上に向けて取り組みが行われている。
No. 12	93%	日直や給食当番等の係活動に、継続して取り組む機会を設けている。
No. 21	93%	生野支援学校の授業参観や学校行事に参加したことがある。
No. 27	93%	学校は、「個別の教育支援計画」の意義や内容について、説明をしている。

アンケートでは、全体の8割を超える項目について、肯定的な評価が80%を超える回答をいただきました。その中でも、上記の5項目が特に高い評価をいただきました。

○「あてはまらない」「あまりあてはまらない」を合わせた【否定的評価】の割合が高い項目

No. 23	20%	学校の施設設備は、学習環境面で整備されている。
No. 25	14%	学校は、子どもが他の学校の子どもたちと交流する機会を設けている。
No. 13	12%	卒業後の進路について考える機会を設定し、校内・校外実習を通して指導や助言を行っている。(高等部のみ)

No.23 「学校の施設設備は、学習環境面で整備されている。」

施設の老朽化による防災・防犯面を心配されるご意見が多かったです。また、教室の不足や、洋式トイレ・エレベーターの設置等、施設自体に対するご意見も多数いただきました。

防災・防犯面に関しては、いくの防災デーや避難訓練に加え、教職員は防犯訓練や児童生徒引継ぎ訓練を行い、緊急時に備えての体制を準備しております。設備に関しても、大規模な改修は難しいですが、洋式トイレの設置や車いす用の階段昇降機を導入する等、可能な範囲で整備を進めているところです。今後とも、安心安全な学校を目指して、計画的に整備を進めてまいります。

No.25 「学校は、子どもが他の学校の子どもたちと交流する機会を設けている。」

感染症拡大防止の観点から、未だにかつてのような直接的な交流の場を持つことは難しい部分があります。その中でも、今年度は高等部の交流で、阿倍野高等学校の生徒が本校に来ていただき、吹奏楽の演奏を行っていただきました。また、小中学部でも、手紙や文化祭の映像発表を交換したり、ZOOM を使用してオンラインで交流をしたりしながら、取組みは続けております。今後も安全な環境を検討しながら、様々な形で交流をする場を設けていきます。

No.13 「卒業後の進路について考える機会を設定し、校内・校外実習を通して指導や助言を行っている。(高等部のみ)」

進路先の検討に関して、情報の不足や相談の体制、校外実習での指導等にご意見をいただいております。実際に進路についての話が進む中で、不安に思われる保護者の方々のご意見でありますので、生徒に合った進路先を選ぶにあたって、学校が最大限の支援を行っていただけるような体制を引き続き考えてまいります。

○ 「わからない」の割合が高い項目

No. 20	26%	授業をはじめ、学校でICT機器（大型モニター、タブレット、パソコン等）を活用する機会が設けられている。
No. 25	25%	学校は、子どもが他の学校の子どもたちと交流する機会を設けている。
No. 30	25%	アンケート等でいじめ（疑いを含む）に対する調査を行い、早期解決できる体制が整っている。
No. 26	19%	P T A活動が活発に行われている。

No.20 「授業をはじめ、学校でICT機器（大型モニター、タブレット、パソコン等）を活用する機会が設けられている。」

ICT機器を使用している状況が、保護者の方々に伝わっていないことが否定的な評価につながっていると考えられます。また、タブレットに関してのご意見もいただいていますので、ICT機器を使用した授業の様子や、タブレットの使用状況等を、通信等で保護者の方々にお知らせしていく必要があると考えます。

No.25 「学校は、子どもが他の学校の子どもたちと交流する機会を設けている。」

直接的な交流の再開や、オンラインや手紙による交流等、現在実施している交流活動に関して、保護者の方々への情報発信を行うことで、実施の状況や内容を知っていただく機会を今後作ってまいります。

No.30 「アンケート等でいじめ（疑いを含む）に対する調査を行い、早期解決できる体制が整っている。」

アンケートを実施していますが、いじめがあることが発覚したその先の体制については、詳しくお知らせしきれていないところがあります。アンケートとあわせて、本校の「いじめ防止対策委員会」や「いじめ防止基本方針」等の情報を提示して、問題解決に向けての取組みをご理解いただけるよう努めてまいります。

No.26 「P T A活動が活発に行われている。」

保護者の方々が交流できる場を設けて、情報交換を行いたいとのご意見をいただいています。座談会のような場を設定することで、保護者間での意見交換ができる機会を検討してまいります。

○ 昨年度より【向上】した項目（±5%を基準とする）

No. 3	肯定的評価 +7%	否定的評価 -1%	子どもは、楽しく授業を受けている。
No. 26	肯定的評価 +6%	否定的評価 -3%	P T A活動が活発に行われている。

No.3「子どもは、楽しく授業を受けている。」

保護者の方々よりのご意見で、感謝のお言葉をたくさんいただきました。授業参観をはじめとした直接見ていただける機会や、連絡帳等の通信、また児童生徒からの直接的な話や様子から、楽しく活動する様子が伝わっている結果であると考えます。

No.3「P T A活動が活発に行われている。」

運動会や文化祭、いくの防災デー等、様々な学校行事にご協力いただきました。また、各種委員会では研修や見学等の活動が精力的に行われ、P T A広報にその様子が紹介されたことで、保護者の方々に伝わったことであると思われまます。

○ 昨年度より【低下】した項目（±5%を基準とする）

No. 23	肯定的評価 -10%	否定的評価 +10%	学校の施設設備が、学習環境面で整備されている。
No. 30	肯定的評価 -6%	否定的評価 -2%	アンケート等でいじめ（疑いを含む）に対する調査を行い、早期解決できる体制が整っている。

No.23「学校の施設設備が、学習環境面で整備されている。」

昨年度に比べて、肯定的評価、否定的評価ともに著しく低下しています。校舎や施設の老朽化に伴い、使用するにあたって不便や不安を感じられていることかと存じます。可能な範囲での改修や整備を、引き続き検討してまいります。

No.30「アンケート等でいじめ（疑いを含む）に対する調査を行い、早期解決できる体制が整っている。」

来年度もアンケート調査だけでなく、教員が日々の児童生徒の様子に変わりないか気をつけるとともに、いじめの実態があった時には早期発見、早期解決ができるよう努めてまいります。

今年度も、保護者の皆様から貴重なご意見をたくさんいただくことができました。お忙しい中、ご協力いただきまして、ありがとうございました。アンケート結果や、いただきましたご意見につきましては、今後の学校運営及び教育活動に反映させていただきます。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。